

## 総務・企業常任委員会 県内行政調査

1 調査日 平成24年7月27日(金)

### 2 調査の概要

#### (1) 滋賀県立大学(彦根市八坂町)

地方独立行政法人となって、7年目を迎えた滋賀県立大学では、今年度は平成29年度までを期間とする第2期中期目標の初年度であり、その着実な取り組みが求められている。第2期中期計画では、教育の質の向上、学生への支援、産官学や地域社会との連携、国際化への対応などのほか、大学経営の改善などにも取り組むこととされており、県立大学の運営状況について調査を行った。



また、県民参画委員会では、大学での研究への取り組みや本県ならではの特色ある研究、学生生活等について、学生との意見交換を行った。学生からは、大学が地域に出て勉強することを後押ししてくれるので、自分の世界が広がった、また、滋賀県のよいところとしては、自然や琵琶湖があり、歴史も豊富であること、環境にかかわる人の数が多いことなどが挙げられるが、その一方で、それぞれの市の活動の連携がもう少し必要ではないか、また、研究において感じることとして、行政には、もう少し住民の意見に耳を傾けてもらってもよいのではないか、などの意見が出された。



#### (2) 消防学校(東近江市神郷町)

近年、災害や事故の態様は複雑多様化の傾向を強めており、各地で災害等が相次いで発生している。特に、東日本大震災以降は、県民の防災に対する意識が高まっていると思われる。

滋賀県消防学校は、消防職員および消防団員を主たる対象として、人材育成のための教育訓練を実施する県の機関である。1年間を通じて専門的で高度な内容のさまざまな教育訓練を実施しているところであり、今回、施設、事業の概要および訓練現場の状況について調査を行った。

